

『4月23日は子ども読書の日』

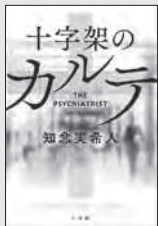
『おくりもの』 豊福まきこ・作 (BL出版)



自分のハリが嫌いなハリネズミくん。ある時そのハリでマフラーを編んでみることにしました。それは「おくりもの」となって森をめぐっていき…。

自分の中の“きらい”を“好き”に変える知恵と優しさあふれる絵本。

『十字架のカルテ』 知念実希人・著 (小学館)



日本有数の精神鑑定医・影山司の助手に志願した新人医師・弓削凜は、犯罪者の心理の闇に対峙していく。究極の頭脳戦の果てに影山が見据える未来とは…。凜が精神鑑定を学ぶ理由とは…。

映画『仮面病棟』の原作者でもある筆者は、医師免許を持つ日本内科学会認定医である。



新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、4月6日(月)から5月6日(水)まで休館としています。なお、状況により休館期間が延長する場合があります。

第397回 おはなしの会

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、5月は中止となります。

《今月の新刊図書》(掲載しているのは購入図書の一部です)

主な新購入図書 (一般)	著者	主な新購入図書	著者
ひこばえ 上・下	重松 清	きをつけて おおかみだ!	セドリック・ラマディエ文 ヴァンサン・フルジョ絵
アウターライズ	赤松 利市	おとなからきみへ	サトシン作・羽尻利門絵
夜明けのM	林 真理子	いたずらのすきなけんちくか	安藤忠雄文・はたこうしろう絵

町報川柳 — 末 —

人生も末広がり生きぬこう
 里守る野末の地蔵の笑みに春
 考えに考えた末の答えです
 我が町もあつた場末の映画館
 末吉に悄気る孫はじだを踏む
 輪の心末来に願う我が町を
 温暖化末来は大変心配だ
 月末の給料袋の懐かしさ
 末長く今日は大安いい日より
 守ってきた家の行く末不透明
 月末は金の成木がほしくなる
 恋末練遠い昔の語り草
 末筆と書いて結びの長々と
 子歳なり末廣がりを期待する
 末長くお付き合ひする里の友
 世紀末微々たるものぞ迫りくる
 月末は懐忙し遣り繰りで
 やんちゃ子の未来に重い石がある
 末つ子の甘える仕草に笑みとなる
 もみじの手末来への夢握りしめ
 末期癌九死一生七年目
 末つ子に必要以上に手を加え
 末ながく都会に行きし友思う
 おふくろよ爺の分まで長生きを
 迎えなどよぶまで来るな八十八に
 旦那様疲れ寝顔にチュヒとつ

広野 新野智耶子
 浦安市 鷹山 悠介
 山口 渡部喜美子
 鮎貝 植木 英夫
 高玉 橋本つね子
 鮎貝 神保 玲子
 山口 児玉 保子
 坂戸市 安達 功
 高岡 安部 健一
 浅立 梅津美千子
 十王 守谷 三郎
 荒砥乙 保科 努
 鮎貝 佐藤 幸子
 浅立 梅津 太一
 世田谷区 遠藤 八重
 荒砥甲 鈴木美貴子
 山口 石川與次衛門
 荒砥乙 五十公野春巳
 十王 松野いせ子
 菖蒲 小関 弘
 十王 守谷 勝助
 高玉 高橋 朝子
 荒砥乙 木口 とよ
 箕和田 土屋 平敏
 箕和田 土屋 敏子
 箕和田 土屋美智子

次回「門」四月二十五日まで／「母」五月二十五日まで (※作品には、ふりがなを振ってください)
 白鷹町大字荒砥甲八三三番地 白鷹町役場企画政策課情報係 宛

地域おこし協力隊通信

— 第47回 —

「 退任のごあいさつ 」

地域おこし協力隊

楊 妍・大津 大介・須藤 充司

大変お世話になりました。
ありがとうございます！



大津 大介さん

楊 妍さん

須藤 充司さん

一昨年の12月のある日、仙台から初めて白鷹町に来ました。とても寒い日でした。仙台ではなかなか見ることができない大きな雪花が舞い、とてもきれいな景色でした。そのとき「ここで生活をしてみたい」という気持ちになりました。そして、昨年4月から白鷹町の生活がスタートしました。最初は右も左もわからず不安で仕方がありませんでしたが、周りの方々のおかげでだんだんと新しい環境に慣れてきました。自分にとって最も大きな課題は自動車の運転免許を取得することでした。幸い、無事に合格することができ、未だに不慣れながら、仕事でも運転し

て出かけています。

2020東京オリンピック・パラリンピックホストタウンの推進事業では、中国広州市の子どもたち、また、U21ソフトボールチームの選手たちが来町し、通訳を務めて初めて「懸け橋」の重要性を実感しました。さらに、中国文化サロン、中国語講座など、さまざまな日中交流関連イベントの企画を通して両国の相互理解を深めることを推進するだけでなく、自分の成長にもつながったと思います。

3月末をもって地域おこし協力隊を退任しましたが、この一年はいろんな挑戦ができて、私の人生において有意義な一年になりました。白鷹町の皆さま、本当にお世話になりました。今後のご発展を心からお祈りします。

(楊 妍)

昨年4月から鷹山地区において秋野の農業支援を主に活動し、ちょうど一年になりました。農業支援以外にも耕作放棄地の活用や紅花まつり実行委員会の方々の紅花栽培、狩猟免許取得後は猟友会に入会し有害鳥獣駆除など、毎日が新しい経験の連続で、私のキャリアの中でも特別な一年でした。

協力隊活動以外にも、地元イベントに参加したり地域の方々との交流から、さまざまなことを学んだり、よい思い出もたくさんできました。白鷹町に来る直前、就農の段取りを進める中で「地域おこし協力隊」という制度を知り、今に至ります。たくさんの方に世話になり、白鷹町で一年を過ごせたのは素晴らしい経験でしたので、今年度も活動を続けるつもりでしたが、就農できる条件が整い、予定より早く独立できる機会がきましたので、3月末をもって地域おこし協力隊を退任させていただきました。今後は白鷹町で水稲を中心に農業を行っていきます。個人的に「有害鳥獣」という呼び方を良くは思っていないですが、自分の農業経営や地域のためにも狩猟活動も続けていく予定です。

最後に、鷹山地区の皆さん、ハワイトイグルスの皆さん、農業研修にご協力いただきましたサンファームしらかの皆さんほか、多くの関係者の方々、一年間ありがとうございました。そして、これからもよろしくお祈りします。

(大津 大介)

お世話になっております。今月もちまして地域おこし協力隊を退任する事となりました。約1年間活動させていただき、本当に多くのことを勉強させていただきました。

紅花摘み取り活動では、十王地区産業環境部会の方々、JA女性部十王支部の方々にご指導いただきました。また、摘み取り手を募集したところ、白鷹町内外の約20名の方に摘み取りにきて頂き、約20キロの紅花を摘み取る事ができました。

紅餅加工活動では、初めての作業で今野正明さんはじめ多くの方にご指導いただきました。摘み取って頂いた約20キロの紅花を十王地区コミュニティセンターで加工した結果、約1・9キロの紅餅を出荷することができました。8月に山形市で行われました紅餅品評会では、すべて1級品の評価を頂きとても自信ができました。

約1年間の短い期間でしたが、私の人生でかけがえのない時間を過ごさせていただきました。地域おこし協力隊で学んだ事をこれからの人生で十二分に生かしていきたいと思えます。本当にありがとうございます。

(須藤 充司)